

マイクロコンピューターによる水質検査 データのファイル化について

Preparation of File for Water Quality Examination Data Using Microcomputer

山下 悟 中島 純夫 横田 秀幸
市川 修三 高杉 信男

Satoru Yamashita, Sumio Nakajima, Hideyuki Yokota,
Shuzo Ichikawa and Nobuo Takasugi

1. 緒　　言

今日、「マイクロコンピューター」(以下「マイコン」という)は、記憶容量の大容量化、ディスプレイおよびフロッピーディスク(以下「F.D.」という)などの周辺機器の高性能化; マイコンを作動するオペレーティングシステムの改良により、ハードウェア、ソフトウェアとともに著しく充実してきた。このためマイコンが、あらゆる分野にも急速に普及してきた。

当所においても、一般計算、データの統計処理など、マイコンの使用ひん度が年々高くなっている。

現在、当所では河川で年間600余検体(検査項目5,700余)の検査を行っており、さらに工場排水・鉱山排水を加えると、年間1,800検体(検査項目10,700余)にも及んでいる。これらのデータをマイコンを使用しないで整理、保管さらに必要に応じて取り出しなどの統計処理を行うと、その業務量は膨大なものとなる。

我々は、これを解決するため、マイコンを使用して、河川水の過去数年間ににおけるデータをF.D.のディスクケットに記憶させ、プリントアウトさせるなどのプログラムを開発した。

2. 使用機種および使用言語

- 1) マイコン: ソード電算機システム社製M100 ACEIV (143 KBミニF.D. 2台, 48 KBメモリー, カラーグラフィック機能付)
- 2) プリンター: ソード電算機システム社製シリアルドットプリンター SLP-150
- 3) 使用言語: BASIC LEVEL-IV

3. プログラムの作成

3-1 データファイル作成のためのプログラム

データファイルは、データ処理の容易さを考え、データを文字列として入力し、F.D.上に連続ファイルとして作成した。すなわち、1検体あたり31項目のデータを、表1のとおり割り当てられた(プログラムでは、DIM文に相当する)文字数の文字列として入力させ、次に各項目の文字列を結合し、152文字の文字列(以下「レコード」という)とした。これにレコードNoをつけ、F.D.に連続ファイルとして記憶させた。

なお、ディスクケット1枚のユーザの使用可能エリアは126 KBであるので、1枚で835個(1レコード=152 B)のレコードが記憶できる。これは、河川水のデータを流域別に分類すると、約7年間のデータの記憶が可能である。(1流域10地

表1 各項目の文字数

()内は文字数

年月日(8), 検体名(4), 水温(4), 透視度(3), PH(7), DO(8), BOD(3), SS(4), Col(4), n-ヘキサン(3), Cd(6), CN(4), 有機-P(4), Pb(5), Cr⁶⁺(4), As(4), T-Hg(7), R-Hg(7), PCB(7), フェノール(5), Cu(4), Zn(4), Fe³⁺(4), Mn²⁺(5), T-Cr(5), F(4), ABS(5), T-N(5), K-N(5), T-P(6)

$$\text{※ } \text{PH}(7) = \text{PH}(3) + " (" + ^{\circ}\text{C}(2) + ")"$$

$$\text{DO}(8) = \text{DO}(3) + " (" + \% (3) + ")"$$

点で、月1回測定として)

このプログラムのフローシートは、図1のとおりである（実際のプログラムは、表2）。なお、このプログラムを実行する前に、F. D 上に連続ファイルのエリアの作成（オペレーティングシステムモードにて）が必要である。また、このプログラムの作成において下記の点についても考慮した。

- 1) 流域別にファイル名をつけ、1流域1ディスクケットとした。
- 2) データの入力後、ミスを発見した場合、"—"を入力することによって、修正データを再入力できるようにした。
- 3) 定量下限以下のデータは、後の統計処理等のことを考え、"0"を入力することによって、定量下限値の1/2の値を自動的に入力できるようにした。
- 4) ファイルのタイトルおよび内容の説明文をレコードNo.0に入力するようにした。
- 5) 欠測データは、空白を入力するようにし、検体がない場合、水温のデータ入力時に、"EE"を入力することによって以下の操作を省略した。
- 6) 入力の停止および終了は、"9999"を入力することによって行い、レコード数が決められた容量以上になった時、自動的に終了するようにした。

3-2 ディスクファイル整理プログラム

このプログラムは、3-1のプログラムでF. D

に記憶したレコードが順不同の場合、これを順序よく並び変え、後の処理をし易いようにするため開発した。

図2のフローシートのとおり（実際のプログラムは、表3）一度F. Dに記憶されたレコードをこのプログラムによって、年月および検体名（アルファベットおよび数字で表示）順に番号づけて、この番号に従って順序よく並び変え、F. Dに再記憶するようにした。

3-3 ファイルデータのプリントアウトプログラム

このプログラムは、3-1, 3-2のプログラムでファイルされたデータを指定された基準で取り出し、プリントするものである。

このプログラムのフローシートは、図3のとおりである（実際のプログラムは、表4）。このプログラムの内容は、次のとおりである。

- 1) 必要なファイルを、ファイル名を入力することにより取り出す。
- 2) 検体名および期間の指定をする場合は、その条件を入力する。
- 3) 上記の条件を満足するレコードをF. Dから読み込む。
- 4) 検査項目（DATA文で指定）毎に、レコードからデータを取り出すと同時にプリントする。さらに、この取り出したデータを数値化し、各項目ごとに集計する。
- 5) 指定された条件の全データをプリントした後、各検査項目毎に、個数、平均値および標準偏差

差をプリントする。

3-4 ファイルデータを用いた相関分析のプログラム

これは、F.Dにファイルされたデータを指定された条件で取り出し、検査項目間の相関を調べるためのプログラムである。

このプログラムのフローチートは、図4のとおりである（実際のプログラムは、表4）。なお、このプログラムは、3-3のプログラムと共通部分が多いので、この二つのプログラムを組み合わせて一つのプログラムとした。このプログラムの内容は、次のとおりである。

- 1) 必要なファイルを、ファイル名を入力することによって取り出す。
- 2) 相関を調べる検査項目を入力する。
- 3) 検体名、期間を指定する場合、その条件を入力する。
- 4) 上記の条件を満足するレコードをF.Dから読み込む。
- 5) 読み込まれたレコードから、必要なデータを取り出し、数値化後、これを集計し必要な計算をする。
- 6) 個数、相関係数、回帰式等をディスプレイする。
- 7) 必要があれば6)をプリントする。
- 8) 必要があれば相関のグラフをディスプレイする。
- 9) 必要があれば8)のグラフをX-Yプロッター（マイプロットWX4671型）にて作図する。

4. プログラムの実行

- 1) 3-1のプログラムを実行させると、図5のとおりディスプレイされ、画面を見ながらデータをキーボードから入力できる。
- 2) 3-3のプログラムを実行させ、ファイルデータをプリントアウトさせたものが図6である。なお、プリンターの機能上、項目として10項目の

プリントアウトが限度で、これ以上の場合は、オーバした項目を指定し直し(DIM文による)、再度実行すればよい。

3) 3-4のプログラムを実行させ、相関分析を行わせると、図7のとおり、相関係数、回帰式等がディスプレイされる。これをプリントアウトさせたのが、図8である。次に、この相関のグラフをディスプレイさせたのが、図9である。なお、X-Yプロッターがあれば、この相関のグラフを作図することができる。

5. 考察

今回開発したプログラムの特長は、各項目のデータを文字列として入力し、これを結合して一定の長さのレコードとし、F.Dへの入出力をこのレコード単位で扱ったことである。

3-1, 3-2のプログラムによって、データのファイル化がなされたことは、3-3, 3-4のデータ出力プログラムの実行によって得られた結果から認められた。

しかし、プログラムの作成にあたって、使用マイコンのオペレーティングシステムや周辺機器の不備などのため、我々の要求するところを完全に満足できなかったこと、いさか複雑な行程のプログラムとなつたことがあげられる。これらることは、最近のマイコンおよび周辺機器の性能の著しい向上により、解決されるであろう。

6. 結語

我々は、今回開発したプログラムによって河川水の過去数年間のデータのファイル化、ファイル化されたデータのプリントアウトおよび統計処理などにほぼ満足できる成果をあげることができた。

なお、これらのプログラムは、若干変更することによって、工場排水およびその他のデータにも応用可能であるので、今後これらのファイル化等を図りたい。

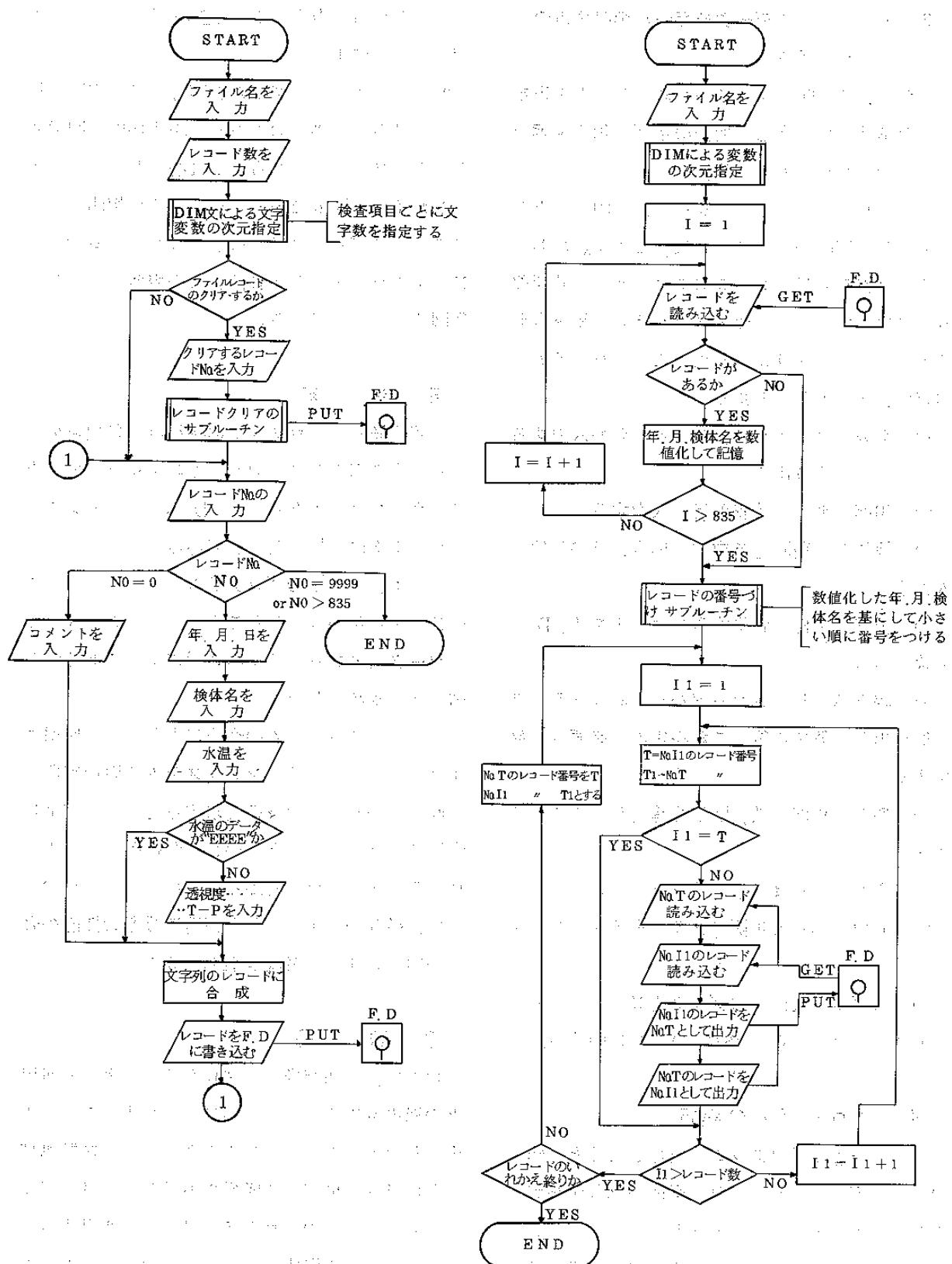


図1 【データファイル作成プログラム】
フローシート

図2 【ファイルデータシートプログラム】
フロージート

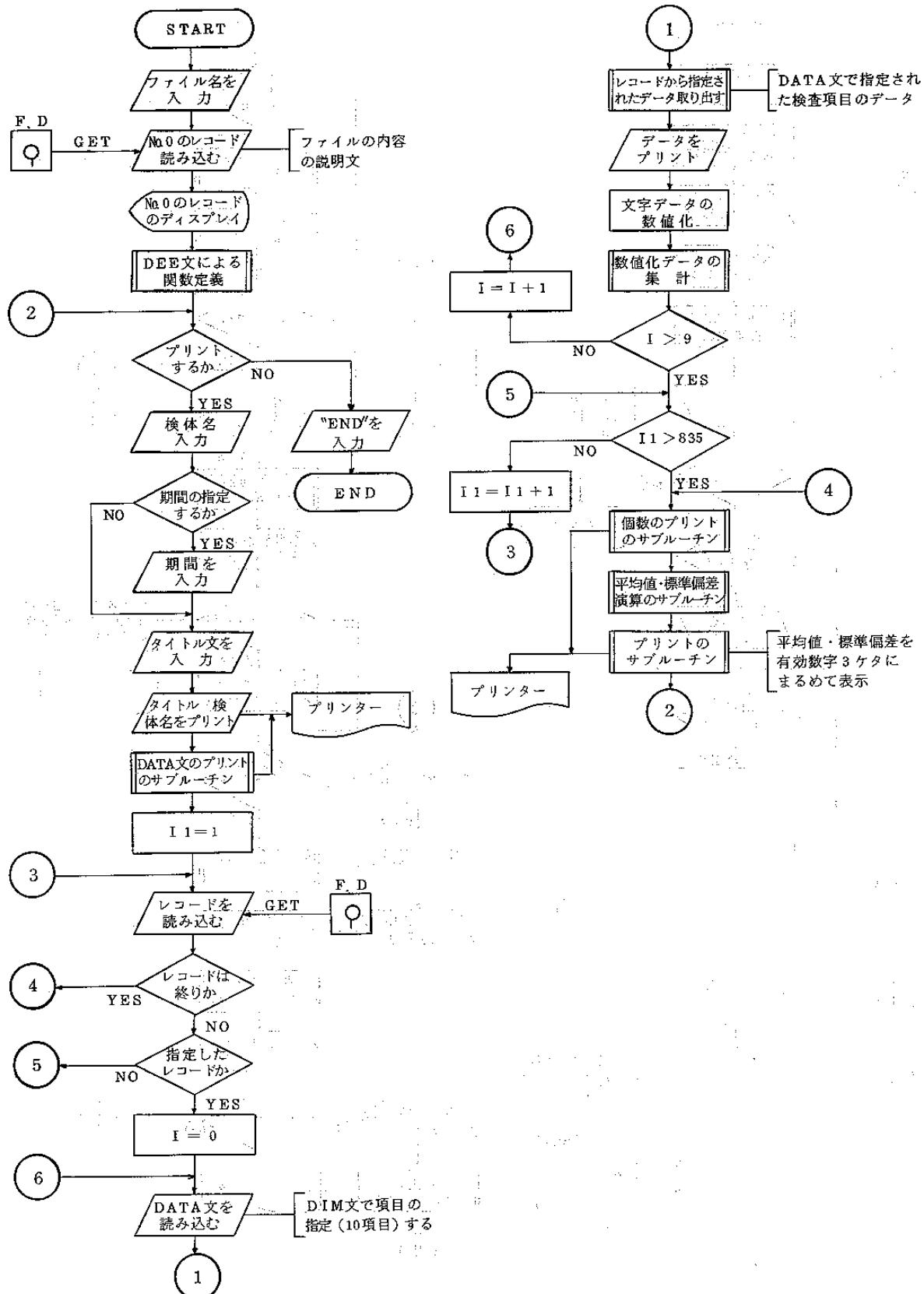


図3 【ファイルデータプリントアウトプログラム】フローシート

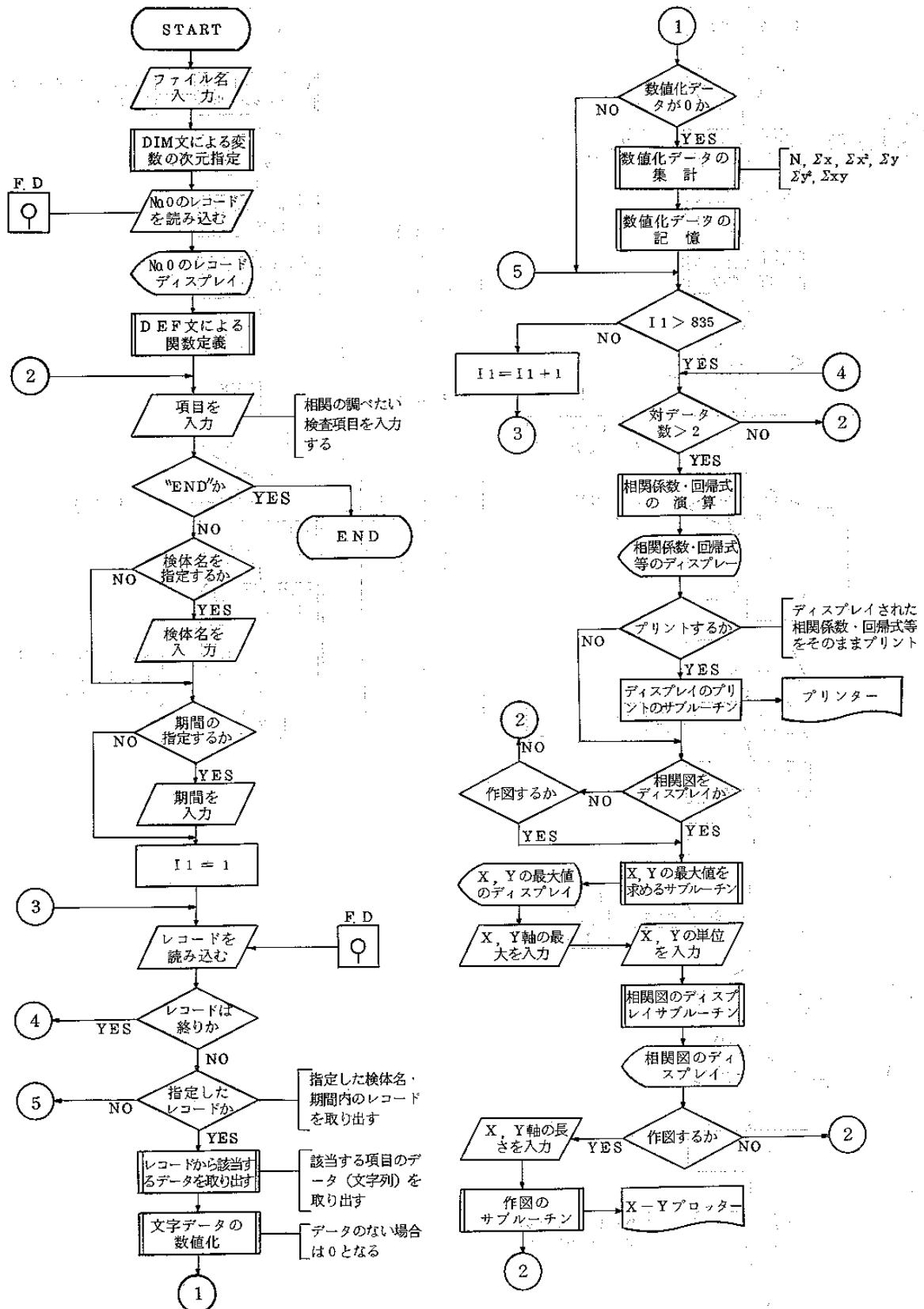


図4 【ファイルデータ相関分析プログラム】フローシート

```

* * *
* * *
* * *
* * *
*RUN
***** データファイル ノ サツマイ *****
ファイル #4 フル I:TOYO
レコード ブロック 835
レコード ノ タイプ サマリ。 YES? NO? NO
コメント ノ インタク ? レコード NO. ノ ト シタイ
レコード NO. 10
VV.M1.DD. 51.10.12
サンダライ C-1
・スイカ 13
トオロ 28
PH 7.4
°C 22
DO 7.7
% 74
BOD 3.3
COD 3.8
SS 17
Col. 2.4E5L

```

図5 【データファイル作成プログラム】の実行例のディスプレイ

VV	M1	D2	SH	DO	BOD	COD	SS	Col	K-N	T-P
52.04	5	7.2	13	.7	1.8	25	1.3E3	.1	.0025	
52.05	10	6.8	12	1.0	3.2	101	3.3E2	.1	.0025	
52.06	8.8	6.7	12	.7	1.5	17	1.7E2	.6	.0025	
52.07	15	7.5	11	1.4	1.9	3	7.3E3	.2	.0025	
52.08	22	7.6	9.5	1.2	1.9	5	1.1E5	.2	.04	
52.09	19	8.1	9.7	1.1	1.3	4	2.2E3	.1	.01	
52.10	13.5	9.1	12	1	1.3	2	4.9E2	.025	.01	
52.11	8.5	7.7	12	.9	2.3	38	1.4E3	.1	.02	
52.12	3.5	7.3	13	.6	2.8	7	2.4E3	.1	.01	
53.01	9	7.7	14	2.0	.8	2	4.9E2	.1	.02	
53.02	0	7.9	15	3.2	2.7	6	4.9E2	.1	.02	
53.03	-5	7.5	14	4.5	4.9	19	3.3E3	.1	.02	
53.04	5	7.9	14	2.6	2.5	18	7.0E2	.3	.02	
53.05	6.5	6.8	12	.9	2.2	19	4.9E2	.1	.02	
53.06	10	7.6	12	1.1	2.4	16	4.9E3	.1	.01	
53.07	23.5	8.2	9.7	1.3	1.7	2	1.3E4	.4	.04	
53.08	23	8.7	9.8	1.1	2.0	4	7.9E3	.1	.06	
53.09	18.5	8.5	10	1.2	1.2	6	7.9E3	.1	.05	
53.10	17.5	8.7	11	1.6	2.0	1	4.9E2	.1	.05	
53.11	8	6.8	13	1.3	3.3	13	4.9E3	.3	.08	
53.12	0	6.9	15	1.5	1.6	10	2.3E3	.4	.07	
54.01	0	7.0	15	1.9	2.3	4	7.3E3	.1	.04	
54.02	0	6.9	13	1.3	1.3	2	4.9E3	.2	.06	
54.03	1.5	7.2	14	2.3	3.4	16	2.2E3	.2	.12	
54.04	2	7.0	14	2.4	1.6	11	4.9E3	.1	.05	
54.05	6	6.9	12	1.3	3.4	48	7.0E3	.1	.06	
54.06	11	7.5	12	1.8	2.6	3	4.9E4	.3	.05	
54.07	21	8.2	10	1.6	3.9	7	1.7E5	.1	.03	
54.08	29	7.9	9.6	.7	3.5	4	7.9E5	.2	.04	
54.09	16	7.5	10	1.1	1.3	8	3.3E3	.2	.03	
54.10	12.5	8.4	12	1.4	3.1	5	1.1E3	.6	.07	
54.11	6.5	6.8	11	.6	2.0	2	4.9E3	.2	.03	
54.12	5	6.7	13	.7	1.9	1	4.9E3	.025	.0025	
55.01	-5	6.5	13	1.7	1.3	15	2.3E3	.025	.01	
55.02	-5.5	6.6	14	2.0	1.8	1	1.4E3	.1	.03	
55.03	2	6.9	14	2.1	3.2	3	7.0E2	.3	.01	
ON	36	36	36	36	36	36	36	36	36	
MEAN	8.72	7.47	12.2	1.45	2.25	11.3	2.75E3	0.207	0.0336	
STD.D.	7.19	0.683	1.7	0.8	0.901	18.4	9.24E3	0.207	0.0274	

図6 【ファイルデータのプリントアウトプログラム】の実行例のプリント

```

ファイル ノイ 11 TOYO
トモウガクラフホンシムヨウチク
データ ナ プリント 又か YES? NO?NO ...
*** ト *** ナ ソウル BOD,COD
サンダメイ ノ シテイ シマスか、YES? NO?YES
サンダメイ ハ C-1
ナカ ノ シテイ シマスか、YES? NO? YES
W エンジ 値 がッ カラ 52,4
W エンジ 値 がッ マテ 55,3
データ ナ ヨコミ オリ

BOD ト COD ト ナ ソウル
サンダメイ ハ C-1
52 : 4 —— 55 : 3

n=35
r=0.4545
Y=0.462X+4.7017

プリント シマスか YES? NO? ...

```

図7 【ファイルデータ相関分析プログラム】の実行例のディスプレイ

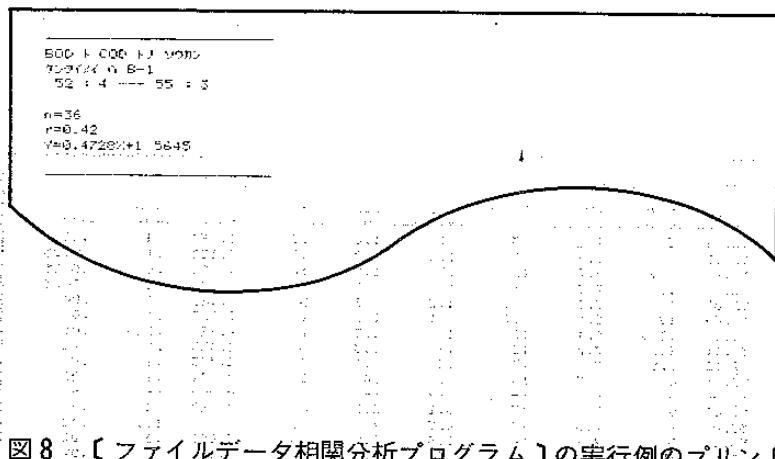


図8 【ファイルデータ相関分析プログラム】の実行例のプリント

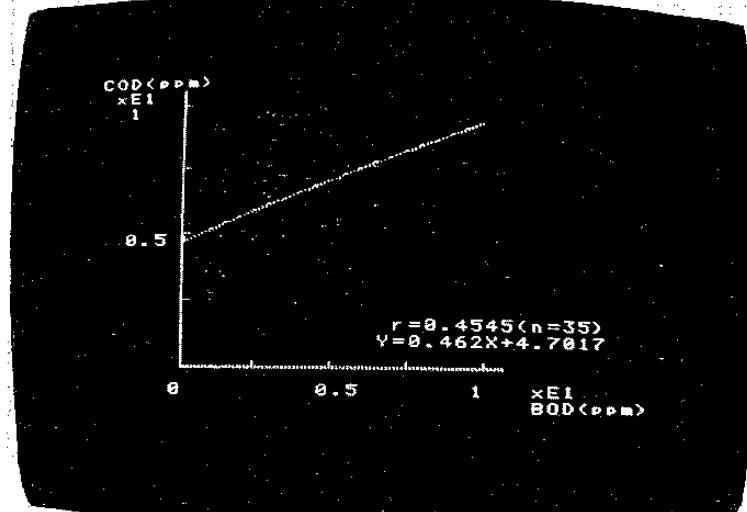


図9 【ファイルデータ相関分析プログラム】の実行例のグラフディスプレイ

表2 データファイル作成プログラム

```

100 PRINT "エラーコード : ", NO$ : GOTO 100
105 ON ERROR GOTO 780
110 CLOSE 1
115 RECORDSIZE #1 : H$ = "H1"
120 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R2
125 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R1
130 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R3
135 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R4
140 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R5
145 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R6
150 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R7
155 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R8
160 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R9
165 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R10
170 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R11
175 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R12
180 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R13
185 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R14
190 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R15
195 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R16
200 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R17
205 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R18
210 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R19
215 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R20
220 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R21
225 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R22
230 IF R1$ = "NO" THEN GOTO 290
235 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R23
240 IF R2$ = "NO" THEN GOTO 290
245 INPUT "エラーコード : ", NO$ : R24
250 FOR I = H1 TO H2
255 LET Z$ = SPACES$(152)
260 PUT #I, RECORD NO
265 NEXT NO
270 PRINT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
275 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
280 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
285 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
290 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
295 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
300 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
305 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
310 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
315 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
320 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
325 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
330 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
335 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
340 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
345 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
350 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
355 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
360 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
365 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
370 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
375 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
380 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
385 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
390 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
395 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
400 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
405 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
410 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
415 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
420 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
425 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
430 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
435 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
440 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
445 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
450 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
455 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"
460 INPUT "エラーコード : ", NO$ : NO$ = "NO"

```

```

      LET U1$ = U1$+0@#
      INPUT "I-H"; I-H
      IF W2$ = "I-H" THEN GOTO 64@
      IF W2$ = "0" THEN LET W2$ = "025@"
      LET W2$ = "025@+00@"
      INPUT "K-H"; K-H
      IF U3$ = "L" THEN GOTO 65@
      IF U3$ = "0" THEN LET U3$ = ".025@"
      LET W3$ = "05@+00@"
      INPUT "T-P"; T-P
      IF W4$ = "L" THEN GOTO 66@
      IF W4$ = "0" THEN LET W4$ = "0025@"
      LET W4$ = "0025@+00@"
      LET Z$ = T1$+T2$+T3$+T4$+T5$+T6$+T7$+T8$+T9$+U1$+U2$+U3$+U4$+U5$+U6$+U7$+
      LET Z$ = U1$+U2$+U3$+U4$+U5$+U6$+U7$+U8$+U9$+U1$+U2$+U3$+U4$+U5$+U6$+U7$+
      GOTO 71@

      LET Z$ = T1$+T2$+T3$+T4$+T5$+T6$+T7$+T8$+T9$+U1$+U2$+U3$+U4$+U5$+U6$+U7$+
      LET #1 RECORD NO
      PRINT "LJ" & C-1" NO. " ; NO
      LET N9 = NO
      GOTO 72@

      LET #1 RECORD NO
      PRINT "LJ" & C-1" NO. " ; NO
      LET N9 = NO
      GOTO 73@

      NEXT I
      PRINT "I-J" & I-J" "
      LET N4 = 0
      FOR I1 = 1 TO NO
      LET T = N2(I1)
      IF T = II THEN GOTO 39@
      LET N4 = N4+1
      GET #1 RECORD T
      LET U$ = T-P
      GET #1 RECORD I1
      PUT #1 RECORD T
      LET N2(I1) = N2(I1)+1
      LET Z$ = U8
      LET #1 RECORD I1
      LET N2(I1) = T1
      NEXT II
      IF H4 < 0 THEN GOTO -200
      H4 <= 0 THEN GOTO -200
      PRINT "P-A P-M"
      CLOSE 1
      END

```

表4 ファイルデータプリント＆相関分析プログラム

表3 ファイルデータのソートプログラム

表4 ファイルデータプリント＆関係分析プログラム

```

100 PRINT "***** プログラム名 : ファイルデータ分析 *****"
110 CLOSE 5
118 INPUT #5 : MM$ = INPUT$ : MM$ = MM$ + 10# : MM$ = MM$ + 10#
120 RECORDSIZE = MM$ : MM$ = 2#*152#
125 OPEN #15 HS FILE 5
130 DIM X$(1000) : Y$(1000) : D6$(20) : D7$(20)
135 K#(10) : K#(10) : K#(10) : K#(10)
140 GET #5, RECD0 : RCD1
145 PRINT RCD0
150 DEF FN1(V1,V2) = V1*V2/240#
155 DEF FN2(U3,U4) = INT(U3*U4^(1#-1#)) * 10#
160 INPUT "#-? -# ? : " ; NS$ = "NO" : MODE 5
165 IF NS$ = "YES" THEN GOTO 230
170 IF GS$ = "YES" THEN GOTO 180
175 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
180 IF A$ = "Y" THEN GOTO 185
185 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
190 IF A$ = "Y" THEN GOTO 200
195 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
200 IF A$ = "NO" THEN GOTO 230
205 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
210 INPUT "#-? -# ? : " ; NS$ = "NO" : MODE 5
215 IF NS$ = "YES" THEN GOTO 230
220 IF GS$ = "YES" THEN GOTO 230
225 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
230 IF A$ = "Y" THEN GOTO 180
235 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
240 IF A$ = "NO" THEN GOTO 250
245 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
250 IF A$ = "Y" THEN GOTO 255
255 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
260 IF A$ = "NO" THEN GOTO 250
265 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
270 IF A$ = "Y" THEN GOTO 255
275 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
280 IF A$ = "NO" THEN GOTO 250
285 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
290 IF A$ = "Y" THEN GOTO 255
295 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
300 IF A$ = "NO" THEN GOTO 230
310 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
315 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
320 INPUT "ENTER L...KEY Y/N : " ; GS$ : A$#
325 LET X# = 0#
330 LET Y# = 0#
335 LET Z# = 0#
340 LET MM$ = 0#
345 LET NS$ = 0#
350 IF GS$ = "NO" THEN GOTO 440
355 INPUT "#-? -# ? : " ; GS$ : A$#
360 PRINT #5 : "-----+624+" ; "+A5$+" ; A$#
365 PRINT #5
370 LET PO = 0#
375 LET N2 = 0#
380 RESTORE 3000
385 FOR I = 1#*I
390 : READ O1$ : PO = 0 TO 9
395 : LET PO = 1#*PO : O1$ = "NAME" THEN LET N2 = N2+
400 : IF O1$ = "MM.NM" OR O1$ = "NAME" THEN LET N2 = N2+
405 : PRINT #5 : TAB(0) ; O1$ ; TAB(0)
410 : NEXT I

```



```

1228 INPUT "Y/N? ", Y$ : IF Y$ = "Y" THEN LET L3 = 5 ELSE LET L3 = 6
1229 : IF M9# = "YES" THEN LET L3 = 5 ELSE LET L3 = 6
1230 COLOR 1
1231 : MODE 1
1232 : GRAPH 1
1233 : GCLEAR
1234 : ULIN 48 , 50 , 48 , 50 , 2
1235 : HLIN 48 , 50+48*32 , 50 , 2
1236 FOR I3 = 1 TO 4
1237 : ULIN 50 , 53 , 48+8*I3*13
1238 : HLIN 48 , 53 , 50+48*I3
1239 : NEXT I3
1240 : MODE 2
1241 : TEXT 5 , 48 , 80
1242 : TEXT 5+4*I3 , 48 , "NUMBER(EI#)+"
1243 : TEXT 5+13*I3 , 48 , "NUMBER(EI#)+"
1244 : TEXT 2 , 219 , "NUMBER(EI#)+"
1245 : TEXT 9+4*I3 , 38 , "R2#*(C+M17#)+"
1246 : TEXT 1 , 228 , "C+M17#*(C+M17#)+"
1247 : TEXT 0 , 238 , "R3#*(C+M17#)+"
1248 : COLOR 1
1249 : MODE 1
1250 : INTPLT INT8(FLOT(CL3+32)/M3#*V5#*(14))+48 , INTG(160#*M4#*V5#*(14))+50
1251 : NEXT 14
1252 COLOR 0
1253 LET X# = 0#
1254 LET Y# = B**X#+B#*
1255 IF Y# < 0# THEN GOTO 1360
1256 IF Y# > M4# THEN GOTO 1350
1257 IF Y# = 0# AND V8# < INTG(FLOT(CL3+32)/M3#*V5#*(14))+48
1258 LET X = 50
1259 IF X# = 0# THEN GOTO -1350# ELSE GOTO 1420
1260 LET X = INTG(FLOT(CL3+32)/M3#*V5#*(14))+48
1261 LET Y = 210
1262 IF X# = 0# THEN GOTO 1390 ELSE GOTO 1420
1263 IF Y# = M3# THEN GOTO -1410
1264 LET X = 48
1265 LET Y = INTG(160#*M4#*V5#)+50
1266 INTPLT X , Y
1267 LET X# = M3#
1268 LET Y# = 0#
1269 LET X = 13532+43
1270 LET Y = INTG(160#*M4#*V5#)+50
1271 LET Y = M3#
1272 MODE 2
1273 COLOR 1
1274 TEXT 4+3*I3 , E3 , D8$*
1275 SLEEP 10
1276 STOP
1277 PRINT CLEAR
1278 IF B# = "NO" THEN GOTO 240
1279 :**** X-Y>0.5- N OUTPUT Pg.***+
1280 GRAPH 0
1281 CLOSE 1
1282 OPEN "PRN" FOR OUTPUT AS FILE 1
1283 INPUT "X>0 & Y>0" : X$ = X7 : Y7
1284 LET X = 500
1285 LET Y = 500
1286 LET PS = 1
1287 LET P6 = INTG(FLOT(X7)+4#)
1288 :LET P7 = 4
1289 :GSUB -10070
1290 :GSUB 10040
1291 LET X = 500

```

```

1292 :LET X$ = "C/E24*NUMBER(EI#)+"
1293 :LET X# = 450+INTG(FLOT(X7)+2#+)*15
1294 :LET Y# = NUMBER(EI#)*FLOT(15)+2#
1295 :GSUB 10070
1296 :NEXT 15
1297 :LET X$ = "C/E24*NUMBER(EI#)+"
1298 :LET X# = 450+INTG(FLOT(X7)+2#+)*15
1299 :LET Y# = NUMBER(EI#)*FLOT(15)+2#
1300 :GSUB 10070
1301 :NEXT 15
1302 :LET X$ = "C/E24*NUMBER(EI#)+"
1303 :LET X# = 450+INTG(FLOT(X7)+2#+)*15
1304 :LET Y# = NUMBER(EI#)*FLOT(15)+2#
1305 :GSUB 10070
1306 :NEXT 15
1307 :LET X$ = "C/E24*NUMBER(EI#)+"
1308 :LET X# = 450+INTG(FLOT(X7)+2#+)*15
1309 :LET Y# = NUMBER(EI#)*FLOT(15)+2#
1310 :NEXT 14
1311 :INTPLT INT8(FLOT(CL3+32)/M3#*V5#*(14))+48 , INTG(160#*M4#*V5#*(14))+50
1312 :NEXT 14
1313 :COLOR 0
1314 LET X# = 0#
1315 IF Y# < 0# THEN GOTO 1360
1316 IF Y# > M4# THEN GOTO 1650
1317 IF Y# = 0# AND V8# < INTG(FLOT(CL3+32)/M3#*V5#*(14))+50
1318 LET X# = 0#
1319 LET Y# = 0#
1320 LET X = 13532+43
1321 LET Y = INTG(160#*M4#*V5#)+50
1322 LET Y = M3#
1323 LET X = 48
1324 LET Y = INTG(160#*M4#*V5#)+50
1325 LET X# = M3#
1326 LET Y# = 0#
1327 LET X = 13532+43
1328 LET Y = INTG(160#*M4#*V5#)+50
1329 LET Y = M3#
1330 LET X# = 0#
1331 LET Y# = B**X#+B#*
1332 LET X = 13532+43
1333 LET Y = INTG(160#*M4#*V5#)+50
1334 LET X# = M3#
1335 LET Y# = 0#
1336 LET X = 13532+43
1337 LET Y = INTG(160#*M4#*V5#)+50
1338 LET Y = M3#
1339 LET X# = 0#
1340 LET Y# = 0#
1341 LET X = 13532+43
1342 LET Y = INTG(160#*M4#*V5#)+50
1343 LET Y = M3#
1344 IF B# > 0# THEN LET E3 = 70 ELSE LET E3 = 180
1345 TEXT 4+3*I3 , E3 , D7$*
1346 SLEEP 10
1347 STOP
1348 PRINT CLEAR
1349 IF B# = "NO" THEN GOTO 240
1350 :**** X-Y>0.5- N OUTPUT Pg.***+
1351 GRAPH 0
1352 CLOSE 1
1353 OPEN "PRN" FOR OUTPUT AS FILE 1
1354 INPUT "X>0 & Y>0" : X$ = X7 : Y7
1355 LET X = 500
1356 LET Y = 500
1357 LET PS = 1
1358 LET P6 = INTG(FLOT(X7)+4#)
1359 :LET P7 = 4
1360 :GSUB -10070
1361 :GSUB 10040
1362 LET X = 500

```



```
10000 PRINT #1 , "D"+NUM$(X)+", "+NUM$(Y)+CHR$(10)
10001 :RETURN
10002 PRINT #1 , "M"+NUM$(X)+", "+NUM$(Y)+CHR$(10)
10003 :RETURN
10004 PRINT #1 , "I"+NUM$(X)+", "+NUM$(Y)+CHR$(10)
10005 :RETURN
10006 PRINT #1 , "R"+NUM$(X)+", "+NUM$(Y)+CHR$(10)
10007 :RETURN
10008 PRINT #1 , "P"+NUM$(X)+", "+NUM$(Y)+CHR$(10)
10009 :RETURN
10010 PRINT #1 , "H"+CHR$(10)
10011 :RETURN
10012 END
```